

費用対効果評価に製薬企業はいかに対応すべきか

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

- 13:00~13:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)
- 13:05~13:45 新たに導入された費用対効果評価制度について
田宮 憲一(厚生労働省保険局医療課薬剤管理官)
- 13:45~14:25 保健医療分野における経済評価研究の重要性
福田 敬*(国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センターセンター長)
- 14:25~15:05 医療経済的視点をいかにして開発段階から導入するのか
貝瀬 俊彦(グラクソ・スミスクライン株式会社開発本部ヘルスアウトカムズ部部长)
- 15:05~15:20 休 憩
- 15:20~16:00 薬価制度に導入された費用対効果評価にいかに対応すべきか
山口 修一(中外製薬株式会社渉外調査部 HTA グループグループマネージャー)
- 16:00~17:00 総合討論
共同司会：奥山 ことば(MSD 株式会社メディカルアフェアーズ
メディカルリサーチプロジェクトマネジメント
メディカルリサーチ第1グループメディカルリサーチコンサルタント)
東宮 秀夫(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団研修事業本部長)
- *の講師は、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定者(MA 分野)です。

【日時および場所】

2019年6月4日(火) 13:00~17:00 (受付開始予定 12:30)

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下2階)

急速に高齢化が進む中で、世界に誇る国民皆保険制度を守りながら、将来の公的医療制度をいかにして維持していくかが大きな課題となっております。とくに、近年の画期的な新薬や新医療機器、再生医療等製品などの急速な開発の進行により、高額な製品の医療の場への導入が現実のものとなってきております。

これらの製品の開発は、疾病に苦しむ患者さんには大きな夢と生存への期待をもたらしておりますが、医療保険財政の面では、何らかの対応が求められる事態となっております。

わが国だけではなく、欧米やアジアの各国においても同様の問題に直面しており、それを解決する手段の一つとして、医療技術評価(HTA)が試行錯誤をしながら導入されてきております。

90年代から薬剤費が増加する中で、1992年に当時の厚生省が、新薬の薬価申請において、医療経済的な評価結果を参考資料として提出する道を開き、2010年には、中医協において、費用対効果分析の導入の必要性について議論され、さらには、2012年には中医協に費用対効果評価専門部会が設置されました。主に中医協の場で検討が進められてきた、新薬の薬価算定時における費用対効果評価の導入が、いよいよ現実のものとなり、製薬企業には適切な対応が強く求められております。

そこで、厚生労働省や新設されたHTAの研究機関である国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センターの方々から現状と今後の見通しなどについてご説明いただき、さらには、製薬企業としていかに対応すべきかについて企業側からもお話いただき、皆様とともに今後の道を探ります。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第244回)

費用対効果評価に製薬企業はいかに対応すべきか

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会
日本製薬工業協会
公益社団法人東京医薬品工業協会
関西医薬品協会
日本 OTC 医薬品協会

日本ジェネリック製薬協会
米国研究製薬工業協会(PhRMA)
欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
一般社団法人日本 CRO 協会
一般社団法人日本医薬品卸売業連合会

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
公益財団法人 MR 認定センター
日本 CSO 協会
一般社団法人 ARO 協議会

【申込要領】

1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<https://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：テキスト代を含みます。

- | | |
|-------------------|---------|
| ・法人賛助会員／個人賛助会員 | 3,000 円 |
| ・非会員 | 3,000 円 |
| ・行政／アカデミア／医療機関／学生 | 1,000 円 |

なお受講者の方は、財団刊行物を特別価格でご購入いただけます。ご希望の方は、申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。この他の刊行物は、研修事業内「開催一覧」の「[お知らせ](#)」からご確認ください。

●<新刊>

映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD) MMR ワクチン事件 ----- 44,000 円

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| ○日本は慢性疼痛にどう挑戦していくのか ----- 2,500 円 | ○映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD) |
| ○知っておきたい薬害訴訟の実際 ----- 2,500 円 | ○温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD) |
| ○微生物迅速試験法 ----- 9,300 円 | など |

3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1単位

認定単位 **開発・PV分野：2単位** が、付与されます。

4. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAXでの受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金をご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 個人賛助会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限りです。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

5. 問い合わせ先

一般財団法人 **医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団** 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <https://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。